

問1 1467年に発生した応仁の乱の背景とその後の社会の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2020年 大分県

公立入試 類似）

1. 足利義政の跡継ぎ問題に有力な守護大名の勢力争いが加わって起ころ、幕府の支配力が弱まって戦国時代へ移行するきっかけとなった。
2. 後鳥羽上皇が鎌倉幕府を倒そうとして兵を挙げたが敗北し、幕府が朝廷への監視を強めるとともに西日本への支配を広げる契機となった。
3. キリスト教への弾圧や重い年貢に苦しむ農民たちが、かつての家臣らとともに組織的な抵抗を行い、幕府が鎖国を完成させる一因となった。
4. 源氏と平氏の争いに端を発し、勝利した源頼朝が鎌倉に幕府を開いて武家による政治の基盤を固めることになった。

問2 室町時代に山口を拠点とした有力な大名である大内氏の保護を受け、中国（明）に渡って学んだ技法をもとに、四季の風景などを墨一色で表現する水墨画を大成させた人物は誰ですか。（2023年 鳥取公立入試 類似）

1. 雪舟
2. 千利休
3. 狩野永徳
4. 運慶

問3 室町時代から戦国時代にかけて、大阪湾に面した港町である堺は、海外貿易の拠点として繁栄しました。この町では、大名などの外部勢力による支配を避け、自分たちで町を運営する自治が行われていました。このとき、堺の自治を担った36人の有力な商人からなる組織の名称を、次の中から選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）

1. 会合衆
2. 町衆
3. 惣村
4. 寄合

問4 14世紀から15世紀にかけての東アジア情勢において、明が民間人の海外渡航を禁止した一方で、日本の室町幕府との間で行った公的な貿易の仕組みを説明したものとして適切なものはどれか。（2025年 沖縄公立入試 類似）

1. 倭寇と正式な貿易船を区別するために「勘合」という証票を用いた朝貢貿易
2. 出島という限られた場所でのみ、特定の国との取引を許可した管理貿易
3. 幕府が発行した朱印状を持つ商人のみが東南アジアへ渡航できた朱印船貿易
4. 琉球王国が中継地点となり、明の産物を日本へ運んだ中継貿易

問5 室町幕府の八代将軍である足利義政が京都の東山に築いた山荘において、東求堂同仁斎という遺構に代表される、畳や床の間、障子などを特徴とする建築様式を何と呼びますか。（2022年 愛知公立入試 類似）

1. 寝殿造
2. 書院造
3. 唐造
4. 校倉造

問6 足利義満が明（中国）との間で勘合貿易を成立させた際、外交上とった立場とその背景についての説明として正しいものはどれですか。（2021年 岩手県公立入試 類似）

1. 明の皇帝から「日本国王」としての称号を受け、臣下の礼をとる形式で貿易を行った
2. 日本の天皇の使節として交渉し、明の皇帝と対等の立場で国交を結んだ
3. 幕府の役職である「征夷大将軍」の名義で、軍事同盟を前提とした条約を結んだ
4. 特定の宗教勢力が貿易を独占するのを防ぐため、楽市・楽座の制度を適用した

問7 14世紀後半から15世紀にかけての琉球王国が行った「中継貿易」の実態を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2024年 沖縄公立入試 類似）

1. 中国の絹織物や陶磁器を仕入れ、それを日本や東南アジアの諸国へ転売した。
2. 日本で採掘された銀を独占的に買い取り、ヨーロッパ諸国へ直接輸出した。
3. 東南アジアから輸入した象牙や香料を、琉球国内でのみ消費する制度を整えた。
4. 自国で大量に生産した綿織物を、朝鮮半島を通じて北アジアへ供給した。

問8 室町幕府の三代将軍である足利義満が深く信仰し、政治や文化の面で幕府と密接に結びついた仏教の宗派として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 福井公立入試 類似）

1. 禅宗
2. 天台宗
3. 真言宗
4. 浄土真宗

問9 近江地方（現在の滋賀県）には、当時の農民たちが団結し、実行使によって借金の帳消しを実現させたことを示す碑文が残されています。このように、室町時代に農民たちが、自らの要求を掲げて団結し、蜂起した歴史的な事象を何と呼びますか。（2022年 滋賀公立入試 類似）

1. 土一揆
2. 打ちこわし
3. 一向一揆
4. 島原・天草一揆

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 足利義政の跡継ぎ問題に有力な守護大名の勢力争いが加わって起り、幕府の支配力が弱まって戦国時代へ移行するきっかけとなった。	将軍家の跡継ぎ問題に、細川勝元と山名宗全という二大守護大名の対立が結びついたことが大きな要因です。京都の街は焼け野原となり、幕府が全国を統制する力を失ったため、各地で独自に領地を治める戦国大名が登場するようになりました。
問2	<b>答え 1</b> 雪舟	室町時代には禅宗の影響を受けて、墨の濃淡で自然を描く水墨画が発展しました。雪舟は山口の大内氏の支援で明に留学し、帰国後は日本独自の様式を確立しました。山口県には雪舟が築いたと伝えられる庭園も残されており、当時の大名が文化人を招いて地域文化を振興させた様子を物語っています。
問3	<b>答え 1</b> 会合衆	堺は日明貿易（勘合貿易）や南蛮貿易の拠点として巨万の富を築き、「東洋のベニス」と称されるほどの自治都市となりました。この運営を担ったのが、36人の豪商からなる「会合衆（えごうしゅう）」です。一方、「町衆」は同時期の京都で自治や文化を支えた商工業者を指し、「惣村」は農民による自衛・自治組織を指すため、区別が必要です。
問4	<b>答え 1</b> 倭寇と正式な貿易船を区別するために「勘合」という証票を用いた朝貢貿易	明は海禁政策によって私的な貿易を禁じましたが、皇帝に貢ぎ物を届ける「朝貢」の形式をとる公的な貿易は認めました。足利義満は明の求めに応じて倭寇を取り締まり、正式な使節であることを証明するために「勘合」と呼ばれる割り印を用いた勘合貿易（日明貿易）を開始しました。これにより、海禁を維持しつつ国家間の利益を確保しました。
問5	<b>答え 2</b> 書院造	室町時代に足利義政が主導した東山文化では、禅宗の影響を受けて簡素で落ち着いた美意識が育まれました。東求堂同仁齋は、畳を敷き詰め、床の間や違い棚、付け書院などを設けた書院造の最も古い遺構の一つとして知られ、現代の和室の原型となりました。平安時代の貴族の住宅様式である寝殿造と混同しないよう注意が必要です。
問6	<b>答え 1</b> 明の皇帝から「日本国王」としての称号を受け、臣下の礼をとる形式で貿易を行った	足利義満は、明を中心とした当時の国際秩序（冊封体制）に加わることで、莫大な利益をもたらす貿易の権利を得ようとしていました。そのため、明の皇帝から「日本国王」として認められる形（臣下の礼）をとり、正式な外交関係を樹立しました。これは日本の主権を認めさせつつ、実利をとるという義満の現実的な外交政策によるものです。
問7	<b>答え 1</b> 中国の絹織物や陶磁器を仕入れ、それを日本や東南アジアの諸国へ転売した。	琉球王国は地理的な利点を活かし、各地の特産品を別の地域へ運んで売買取引の中継貿易で繁栄しました。中国（明）から入手した高級な絹織物や陶磁器を、日本や東南アジアへ運び、逆に東南アジアの香料や象牙、日本の刀剣や銀などを中国へ運ぶといった活動を展開しました。これにより、琉球は東アジアの物流の拠点となりました。
問8	<b>答え 1</b> 禅宗	鎌倉時代に日本に伝わった禅宗は、室町時代に入ると幕府の保護を受けて発展しました。特に三代将軍の足利義満は禅宗を深く信仰し、自らの像を禅寺に安置させるなど、武家政権の権威と宗教勢力を強く結びつけました。これにより、禅宗は政治や外交の面でも重要な役割を果たすようになりました。
問9	<b>答え 1</b> 土一揆	近江（大乗院寺社雑事記などにも記される地域）に残る碑文などの歴史的証拠は、当時の民衆がただ支配されるだけでなく、組織的に行動して要求を通そうとした力の強さを示しています。土一揆は、村々の自治組織である「惣」が中心となり、地域を越えた広範なネットワークを持って展開されました。江戸時代の「打ちこわし」とは、時代背景や組織化の形態が異なります。